

# 第15回がん患者大集会参加報告書

## 第15回がん患者大集会 これからのがん治療とピアサポートの重要性

日時：2019年11月10日（日）会場12:00 13:00～16:30  
会場：国立がん研究センター築地キャンパス新研究棟大会議室

### プログラム

#### 第1部

- ①特別講演「光免疫療法による新しいがん治療」  
国立がん研究センター東病院 頭頸部内科長 田原 信 先生
- ②講演「希少がん患者さんとともに」  
国立がん研究センター 希少がんセンター長 川合 章 先生

#### 第2部

- 発表：ピアサポート事業10年の振り返り
- 「ピアサポート10年の成果と今後の課題」 齋藤 とし子 氏
  - 「私がピアサポーターになろうとした動機は」 神谷 康秀 氏
  - 「ピアサポーターへの道のり、そして、これから」 三上 裕美 氏

#### 第3部

- シンポジウム：ピアサポートの重要性と課題
- コーディネーター  
東京医科歯科大学医学部附属病院 血液内科 坂下 千瑞子 先生
- シンポジスト
- 北里大学病院 集学的がん診療センター長 佐々木 治一郎 先生
  - 駒込病院 患者サポートセンター長 出江 洋介 先生
  - 国立がん研究センター 希少がんセンター看護師 加藤 陽子 氏
  - NPO法人がん患者団体支援機構 事務局長 山田 陽子 氏
  - ピアサポーター 松川 紀代 氏

#### 第4部

- アピール文提出

# 第15回がん患者大集会に 協力した細胞検査士会メンバー

## 細胞検査士会参加者

三宅真司、岸本浩次、町田知久  
濱川真治、宅見智晴、稲垣敦史  
向山淳児、近藤 円、金室俊子  
寺尾暁子、中島 研、坂本 佳  
澁木康雄（13名）



## 細胞検査士会の協力内容

9時集合

- ・ 配布資料袋詰め
- ・ 誘導案内（会場内、会場外）
- ・ 参加者受付
- ・ 写真撮影 など



## 【会場内の様子】



## 【乳がんリハビリ＆自己検診体操】



第15回となるがん患者大集会は、国立研究開発法人国立がん研究センター築地キャンパス内に昨年完成した新研究棟の大会議室において開催された。この会議室は約300名収容可能な施設であるが、開始から間もなく、ほぼ満員となる盛況ぶりであった。

細胞検査士会の参加者は13名で、配布物の袋詰めや受付、会場までの案内や誘導、写真撮影等を分担して行った。初めての参加者は少なく、当日は大きな混乱もなく円滑に進められた。

## 【厚生労働省へアピール文の提出】



## 【第3部 シンポジウム】



受付や案内など担当業務の関係や会場内の盛況により、検査士会の参加者は全てを聴講することはできなかったが、シンポジウムなどでも活発な討論や質問がされ、予定終了時間を超過するほどの熱気であった。

また、今回も最後に、厚生労働省、日本医師会、がん患者・家族の皆さんへのアピール文が採択され、厚生労働省と日本医師会にはその場で直接手渡された。

細胞検査士会が、がん患者大集会へ協力をさせていただくようになって十数年が経った。細胞検査士会という名称も広く認知されてきたと会を重ねるごとに感じる。今後もこのような活動を継続していく必要性を再認識した。

文責：細胞検査士会渉外委員会委員長 三宅真司  
東京都細胞検査士会広報 澁木康雄